

## 地球人間圏科学

## Toward establishing a new paradigm of geo-humanosphere science

# 岡部 篤行 [1]; 氷見山 幸夫 [2]; 安成 哲三 [3]

# Atsuyuki Okabe[1]; Yukio Himiyama[2]; Tetsuzo Yasunari[3]

[1] 東大・工; [2] 北教大・教; [3] 名大・地球水循環

[1] Univ of Tokyo; [2] Hokkaido Univ. of Edu.; [3] HyArc, Nagoya Univ.

地球人間圏科学とは、地区・地域スケールから地球スケールにおける自然と（経済・社会・文化活動を含む）人間活動の相互作用が織りなす諸現象を対象とした科学と位置づけています。言い換えれば、「地球環境問題」や「自然災害」に代表される問題群を、ローカルな地域からグローバルに至る空間スケールで、人と自然の相互作用や共生の仕組みという視点で調査・観測、測定、記述（地図化）し、データを蓄積・管理、分析し、それらにもとづいてモデルの構築、予測を行い、さらに計画・政策策定、伝達・視覚化などの研究をする分野です。その大きな特色は、自然科学、工学、人文・社会科学の見方と方法を、複眼的に、かつ統合的に進めようという点にあります。現代の社会は、大規模災害問題、環境問題、土地資源問題などに見られるように、地球規模での現象が、地区・地域に影響を与えている問題だけでなく、地区・地域の問題が地球全体に影響を及ぼす問題が数多くあります。地球人間圏科学は、これらの問題を解決する過程で、人と地球の関わりについて、より深く考えていく分野でもあります。皆さんの研究している自然科学、工学、人文・社会科学を礎にしつつ、より統合的な視点での新たな「地球」観を築いていく地球人間圏科学の創生を、次世代を担う若い人たちとともにめざしたい。